

令和5年度事業実施状況

【研修部関係】

I 国際協力研修事業

18	日本語・日本文化研修事業（日本語高等研修等）	35
19	日本語・日本文化研修事業（国際人材育成事業）	37
20	国際協力機構（JICA）受託研修事業	41

II 地域の国際化推進事業

21	地域の国際化推進事業（地域交流イベント）	44
22	国際協力情報の収集・提供事業（ひろしま国際プラザ情報センター・図書室等運営事業）	61
23	NGOの人材育成・情報提供事業	63

III ひろしま国際プラザ施設管理運営事業

24	ひろしま国際プラザ施設管理運営事業	64
----	-------------------	----

(研修部：I 国際協力研修事業)

1 8 日本語・日本文化研修事業（日本語高等研修等）

1 目的

海外からの研修員等に対し、業務や研究及び日常生活に必要な日本語能力の向上や日本文化の理解の促進を図るとともに、国際協力・国際化の進展に寄与する（広島県からの受託事業）。

2 事業概要（平成9年度(1997年度)開始）

日本語・日本文化研修：海外からの研修員等を対象に日本語及び日本文化の研修を実施

3 令和5年度実績

研 修 名 等		人数	実施期間	内 容
日本語 高等研修	2週間 集中プログラム	7人	A日程 8/7～8/11 8/28～9/1 B日程 8/21～8/25 9/11～9/15	外国人留学生在大学院で研究活動を行うために必要な論文作成・発表、 討論等の高度な日本語能力を習得するための研修
	半年プログラム	4人	10/2～3/1	
海外日本語 教師養成 研修	東南アジア	インドネシア：3人 ベトナム：3人	10/4～11/29	アジア・太平洋地域等の日本語教師を対象に、日本語教師に必要な日本語教授法の習得及び日本語運用能力の向上のための研修



日本語高等研修 2週間集中プログラム



海外日本語教師養成研修

研 修 名 等	人数	実施期間	内 容
J E Tプログラム 日本語・日本文化研修	38人※	8/21～8/25	J E Tプログラムにより広島県及び 県内市町に派遣される海外の青年に 対する日本語・日本文化事情研修
海外大学 日本語・日本文化体験プログラム	—	—	アジア・太平洋地域等の高等教育機 関の学生で、日本語・日本学を専攻 している者、あるいは日本理解・広 島理解を希望する者を対象にした日 本語・日本文化研修 (R 5年度実績なし)
在外県人会後継者育成支援等事業	在外県人会: 14人 グアナファト州: 12人	在外県人会 7/31～8/7 グアナファト州 8/2～8/7	ハワイ・北米・中南米の在外広島県 人会及び広島県の友好提携先のメキ シコ・グアナファト州から青少年を 広島に招き、広島への理解を深めて もらう交流プログラム

※ 研修参加予定者は43名であったが、研修前に新型コロナウイルスを発症し、研修に参加できなかった研修員が4名いた。また、諸事情により研修に参加しなかった者が1名いたため、研修を修了した研修員は38名であった。

(研修部：I 国際協力研修事業)

1 9 日本語・日本文化研修事業（国際人材育成事業）

1 目的

海外からの学生等に対し、日本語・日本文化研修や生活支援等を実施し、日本への理解の促進を図るとともに、国際交流の進展や国際的な人材の育成に寄与する。

2 事業概要 ((1)～(3)平成18(2006)年度開始、(4)平成26(2014)年度開始)

(1) 青少年等日本文化体験研修

海外から教育旅行で広島県を訪問する青少年に対し、日本語の授業、日本文化体験、日本の歴史・産業の見学、及び地域住民・学生との交流の機会（ホームステイ・ビジットも実施）を提供する。

【5泊6日の場合の代表的な日程例】

日	曜日	時間	内容
1日目	木	午後	福岡・大阪・東京等から到着 HIP チェックイン、開講式、日本語授業
		夕方	日本文化体験（浴衣の着付けなど）
2日目	金	午前	広島市内見学
		午後	（平和記念公園、マツダミュージアム、お好み焼き体験など）
		夕方	ホームステイ
3日目	土	終日	ホームステイ
4日目	日	午前	ホストファミリーとお別れ
		午前・午後	宮島（厳島神社）、もみじ饅頭づくり体験など
5日目	月	午前・午後	学校訪問 （生徒との交流、授業・クラブ活動参加など）
		夕方	日本文化体験（茶道など）
6日目	火	午前	閉講式 次の訪問地に向けて出発

【研修部で実施可能な日本文化体験の例】

茶道、生け花、折り紙、浴衣の着付け、絵手紙、書道、和食（巻き寿司など）、お好み焼き、和菓子、折り鶴アート、殺陣、竹とんぼ製作、日本の遊び（竹馬・けん玉等）

(2) 海外自治体・大学等国際化研修

海外の自治体職員や教育機関・大学の教職員・学生などに対する研修プログラム。ノンネイティブ日本語教師のための研修（日本語・日本文化・授業改善など）や、海外で日本語や日本文化を学んでいる人のための実践的な日本語研修などを行う。

(3) 企業等国際化研修

企業等が受け入れる外国人研修員に対し、HIPに宿泊しながら日本語や日本文化の学習の場を提供する研修プログラム

昼間に会社・工場などで技術研修を受け、HIPに帰ってから日本語クラスや日本文化体験を行うことも可能。また、企業からの要望に応じて、日本の生活を開始するためのオリエンテーション、健康診断、役場への届け出、銀行口座開設などの支援、日本語集中講義なども行う。

(4) グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)

ひろしま国際プラザに入居して、所属の大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることができる外国人留学生のためのプログラムを実施する。

レジデントアシスタント (RA) の日本人学生を配置し、プログラムに参加する留学生を支援している。

区分	グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)
ねらい	ひろしま国際プラザに入居して、次の能力を養う。 ア 日本語及び日本文化・事情理解 イ 次世代のリーダー・グローバル人材として必要な能力 ウ 多文化共生・協働・平和を希求する精神
プログラム内容等	ア 地域交流等 ・ ひろしま国際センター等が行う各種の地域交流イベントや研修事業へ参加し、イベントの中で自国の文化等を紹介したり、イベントや研修事業の運営を支援する。 ・ 実施時期：随時 イ 留学生間の交流 RAの主宰のもと、定例的なミーティングを開催し、入居留学生の相互交流とともに、ひろしま国際センターの国際交流イベントへの協力や生活のことなどについて、情報交換を行う。 ウ 日本語の学習支援 ひろしま国際センターの日本語講師陣に日本語能力試験の勉強法などが相談できる。
参加期間	1年間（原則最大2年間）
累計参加者	事業開始（平成26(2014)年度）以降 延べ25ヶ国128人（令和6年3月末現在） （内訳） 中国45人、ベトナム14人、フィリピン9人、バングラデシュ7人、パキスタン6人、タイ5人、アフガニスタン5人、インド5人、韓国4人、イラン4人、インドネシア4人、エジプト4人、カンボジア3人、メキシコ2人、アンゴラ・イエメン・ウズベキスタン・スリランカ・シリア・ナイジェリア・ネパール・フランス・アメリカ・チリ・ジャマイカは各1人

3 令和5年度実績

区分	研修名等	人数 (内率・外 数)	実施期間	備考
青少年等 日本文化 体験研修	国際青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプログラム) フィリピン・サイエンス・ハイスク ール高校生	9人 (1人)	6/12～6/17 (5泊6日)	科学技術の分野において日本と世 界の国と地域の青少年が交流を行 うもので、科学技術振興機構の支援 により行われる事業
	国際青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプログラム) インドネシア及びフィリピン高校生	8人 (2人)	12/3～12/9 (6泊7日)	科学技術の分野において日本と世 界の国と地域の青少年が交流を行 うもので、科学技術振興機構の支援 により行われる事業
	グローバル未来塾inひろしま	23人	7/23～2/4 (上記期間中 14日間実施)	将来、国際平和を希求し世界的に活 躍できる人材となることを目指す 高校生等を対象に、広島県が実施す る、英語力、核軍縮や紛争解決など の国際的課題を学ぶプログラム
	2023 キーンズランド州 STEM 日本 プログラム	13人 (2人)	12/3～12/9 (6泊7日)	広島県教育委員会が教育協力協定 を締結しているオーストラリア・ク ィーンズランド州の高校生を広島 に招き、日本文化等を学ぶ研修プロ グラム
	タイSTREAM教育旅行プログラム	18人 (3人)	12/17～12/23 (6泊7日)	タイの教育コンサルタント会社で あるGROW OUT OF THE BOX社の企画 による、現地インターナショナルス クールに通う小中学生が日本の科 学技術を体験・学習する研修
	インドネシア・ボゴル第三高校 日本語・日本文化体験研修	21人 (8人)	12/5～12/11 (6泊7日)	インドネシアの中学生・高校生を対 象とした日本語・日本文化研修
	イマキュレート・コンセプションス クール・バリアッグ校 (フィリピン) 日本文化体験プログラム	6人 (2人)	3/10～3/16 (4泊5日)	フィリピンの高校生を対象とした 日本文化研修
海外自治体・大学等 国際化研修	R5「日本の教育システムと文化体験 研修 (フィリピン) 6月	26人	6/13～6/17 (5日間)	ファハルド教授の企画による、フィ リピン人教育関係者を対象とした 研修を受託。学校訪問、日本文化体 験、文化施設の見学を通じて、日本 の教育制度や日本文化及び広島に ついての理解を深める。
	R5「日本の教育システムと文化体験 研修 (フィリピン) 10月	19人	10/12～10/19 (8日間)	ファハルド教授の企画による、フィ リピン人教育関係者を対象とした 研修を受託。学校訪問、日本文化体 験、文化施設の見学を通じて、日本 の教育制度や日本文化及び広島に ついての理解を深める。

	JENESYS研修生日本文化体験	14人 (3人)	8/25	外務省が諸外国・地域の優秀な青年を対象に、日本に対する関心と理解を向上させる JENESYS プログラムの一環で行う日本文化体験プログラム
企業等国際化研修	MASUOKA日本語コース 就業前研修	1人	4/17~7/14	(株)増岡組に就業予定のキルギス人研修員に対する日本語・日本文化研修
	R5「四川省環境保護合作事業」(中国)	3人	12/6~12/20 (15日間)	広島県環境政策課と四川省環境保護庁が協定を結び、平成4年(1992年)から継続している環境分野の技術交流事業の国内研修。
	ユニタール広島事務所 ヨルダン、イラク、レバノン及び南スーダン研修員日本文化体験プログラム	35人 (10人)	2/16~2/23 (8日間)	ユニタール(国連訓練調査研究所)広島事務所が受け入れた南スーダン、ヨルダン、イラク及びレバノンからの研修員に対する日本文化研修
	ユニタール広島事務所 タンザニア、ザンビア及びジンバブエ研修員日本文化体験プログラム	24人 (4人)	2/28~3/2 (6日間)	ユニタール(国連訓練調査研究所)広島事務所が受け入れたタンザニア、ザンビア及びジンバブエからの研修員に対する日本文化研修
	留学生のための「自分」再発見プログラム	12人 (日本人ポーター4人)	3/18~3/19 (1泊2日)	広島県内の大学や大学院に在籍する留学生に対し、日本国内で就職活動を行う前段階として、「自分を知る」きっかけを提供し、今後の留学生活や実際の就職活動を充実させるための日本語研修プログラム
GRP	グローバル能力開発コース (長期)	19人 (定員19人)	通年	(全体の内訳) 中国 5、ベトナム 2、アフガニスタン2、パキスタン2、インド2、インドネシア・エジプト・イラン・ベネズエラ・ジャマイカ各1。男性8、女性11 (2024. 03. 22 現在)
	レジデント・アシスタント (RA)	2人 (定員2人)		日本人学生男女各一名
	合計	253人 (39人)		

20 国際協力機構(JICA)受託研修事業

1 目的

独立行政法人国際協力機構(JICA)中国センターが受け入れた、開発途上国の国づくりの中心となる技術者・行政官等への研修をHICが受託実施し、様々な分野の専門知識・技術等の移転を支援する。

2 事業概要

JICAから集団型研修コース等を受託し、広島県や県内の大学等と協力して実施する。

3 令和5年度実績

(1) 課題別研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
①紛争影響国における国家建設	4人	6/27～7/7	【内容等】 <ul style="list-style-type: none">日本の事例を通じて安定した国家建設を適切に計画・履行するためのガバナンスのあり方に関する理解を高め、目指すべき国家像や諸機関の関連の中での行政官の役割をあらためて見直すことで、中堅幹部行政官の政策形成能力が向上することを目的とする。日本の統治機構や行政府・立法府・司法府の関係、国家安定に資する治安関連諸機関の機能を理解する。 ・来日実施 【協力機関】 日本政治総合研究所、警察庁、総務省、広島県、広島市、海上保安大学校 等 【参加国】 南スーダン、ソマリア、パキスタン
②排水処理技術	10人	9/4～10/19	【内容等】 <ul style="list-style-type: none">日本で実際に機能している排水処理システムの実例及びその整備プロセスを体系的に学ぶと共に、参加国間で課題や経験を共有、議論する中で、参加者が各国の排水処理状況を改善するための糸口をつかむことを目的とする。「水環境保全」「下水道計画・経営」「処理場の維持管理」「下水処理技術」等といったテーマについて、講義・視察・実習を通して自国に合った必要な知識・技術を学ぶ。途上国に向けた技術の一つとして、UASB+DHSを紹介し、自力で実行可能な改善取組みへの意欲を向上させる。 ・来日実施 【協力機関】 東広島市、広島大学、長岡科学技術大学、(株)DHSテクノロジー、高知県須崎市、日本下水道事業団、県内の排水処理施設、汚水・汚泥処理関連企業等 【参加国】 コスタリカ、ドミニカ共和国、メキシコ、ニカラグア、パナマ、アルゼンチン、ボリビア、エクアドル、ペルー、ウルグアイ
③サヘル諸国・周辺国における地方行政能力強化による政府と住民間の信頼醸成	9人	9/8～9/21	【内容等】 <ul style="list-style-type: none">紛争の影響を大きく受けているサヘル諸国及び周辺国の幹部地方行政官の、地域社会の再建に向けた行政と住民の協働による街づくり、行政と住民の信頼醸成に寄与する、リーダーとしての教訓を習得することを目的とする。日本の戦後復興及び災害復興の経験を基に、紛争影響国での地域社会再建の取り組みにおける地方行政の役割・責任を理解する。 ・来日実施 【協力機関】 総務省、広島県、東広島市、(同)ひとむすび、世羅町、特産品センターかめりあ、宮城県議、元復興庁事務次官 等 【参加国】 ブルキナファソ、チャド、コートジボワール、マリ、モーリタニア

④地方行政能力強化（紛争影響国における地域社会再建）	7人 （内、1人来日中止）	11/6～11/22	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紛争影響国において地域再建プロセスを担う地方行政官及び中央政府の行政官の政策・計画の立案・実施能力の向上を目的とする。紛争影響国における地域社会の再建を通じた平和構築の取り組みと、その中での地方行政・コミュニティの果たすべき役割を理解する。 ・来日実施 <p>【協力機関】 広島県、安芸高田市、福島県、東北大学、宮城県議、いわき市、（社）ふくしまオーガニックコットンプロジェクト、（株）起点、広野町等</p> <p>【参加国】 パキスタン、エチオピア、南スーダン、ウクライナ、（リビア）</p>
⑤道路維持管理（D）	9人	1/11～2/22	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加国の経済発展に伴う急増する自動車交通需要に対応する道路整備について、日本の技術・知識・経験を活かし、効率的な維持管理計画の策定スキルを向上させることを目的とする。 ・PDCAサイクルを使って、予防的かつ効率的な道路整備や維持管理の方法を学ぶ。 ・来日実施 <p>【協力機関】 広島大学、東広島市、高速道路関係企業等</p> <p>【参加国】 エジプト、エチオピア、ヨルダン、パレスチナ、ウガンダ、ジンバブエ（計6か国）</p>
計5コース	39人		

※実施期間は技術研修期間である。

(2) 国別研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
②ナイジェリア 「北東部州復興計画策定能力強化」	14人	10/2～10/13	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連邦政府、州政府及び市の行政官が、日本の戦後復興の経験や住民と行政が協働する取り組みを理解し、北東部地域の効果的な復興計画を策定・実施するために必要な能力を強化することを目的とする。 ・日本の戦後復興や災害復興の経験を学び、コミュニティとの関係に重点を置いて地域社会再建を行う日本の地方行政の働きを理解し、自国の地方行政能力強化の参考となる教訓を得る。 ・来日研修により実施 <p>【協力機関】 広島県、広島市、広島県議会、福島県、いわきおてんとSUN企業組合 等</p>
①ソマリア/地域社会再建にかかる地方行政能力強化（準高級）	8名 （内、1名来日中止）	8/21～9/2	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域再建プロセスを担う市長、地方政府及び中央政府の行政官の政策・計画の立案・実施能力の向上を目的とする。 ・日本の行政制度の変遷や現状、課題について学び、地方行政の在り方を理解する。また、日本の戦後復興及び災害復興の経験をもとに地方行政の目指す姿を共有し、ソマリアにおける復興及び課題解決のための教訓を習得する。 ・来日研修により実施 <p>【協力機関】 広島県、東広島市、東北大学、東松島市、宮城県議、自治会等</p>
③イラク 「廃棄物管理」	6名	1/15～2/9	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理に係る計画立案、収集運搬及び適正な最終処分（有害廃棄物含む）について、エルビル市の廃棄物処理計画における策定能力を強化することを目的とする。 ・日本の廃棄物行政システム並びに視察を通して自国との比較、改善のヒントを得る。 ・来日研修により実施 <p>【協力機関】 広島県、広島市、東広島市、広島中央衛生組合、廃棄物処理関連企業、東京23区一部清掃事業組合、東京都等</p>
計3コース	28人		

※実施期間は技術研修期間である。



「道路維持管理 (D)」
(NEXCO 西日本第二神明道路事務所の視察)



「イラク/廃棄物管理」
(広島市恵下埋立処分場の視察 or 課題分析 WS)



「サヘル信頼醸成」
(特産品センターかめりあの視察 or 平和記念公園での献花)



「排水処理技術」
(東広島浄化センター視察 or 高知県須崎市終末処理場(DHS システム)視察 or 日本下水道事業団での実習)

(3) 青年研修
実績なし

(4) 日系研修
実績なし

※実施期間は技術研修期間である。

(参考) 過去のJICA研修受託実施状況

(単位：コース、人)

区分/年度	H9～H30	R1	R2	R3	R4	R5	累計
コース数	258	11	4	6	11	8	298
研修員数	2,257	86	36	45	97	67	2,588

2 1 地域の国際化推進事業（地域交流イベント）

1 目的

県民が直接外国人と交流する機会を提供し、地域の国際化を推進する。

2 事業概要

多くの地域住民（在住外国人を含む。）が国際相互理解を深める機会として、「ひろしま国際プラザ（HIP）」に在館する研修員の協力も得ながら、様々な地域交流イベントを実施する。

また、国際交流・協力事業の地域ボランティアを養成するため、イベントでの通訳やホストファミリーなどの「HIC オレンジサポーター」登録制度を設け、積極的な参画を促進する。

3 令和5年度の実績

1 地域における国際交流推進事業

【事業目的】

日本人住民に対する意識啓発、外国人住民に対する日本での生活上必要な種々の情報提供及び地域に暮らす外国人・日本人住民の交流機会の提供を行うことにより、地域における国際交流及び外国人住民が心豊かに暮らせるまちづくりの推進を支援する。

1 子ども英語村（Kids' English Academia）

(1) 概要 東広島市内に住むALT（Assistant Language Teacher：外国語指導助手）やひろしま国際プラザで研修を受講中の外国人研修生等の協力により、外国人と日本人が英語を媒体として交流する。遊びながら英語を学び、また異文化理解と多文化共生社会の推進を支援することを目的とする。

(2) 対象者 東広島市在住の語学、異文化理解に関心のある青少年等

(3) 実施回数・参加者数 2回 103名

(4) 実施状況

(1回目)

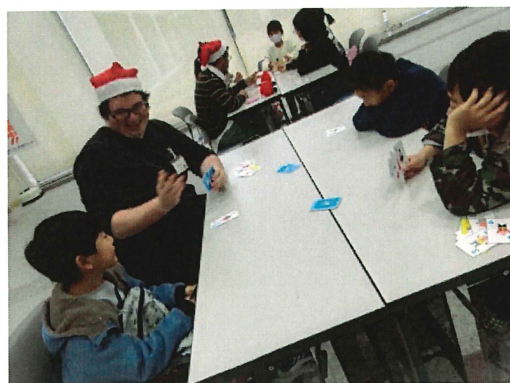
日時	令和5年12月16日（土）9：45～12：30
場所	ひろしま国際プラザ ロビー（1階、2階）、体育館
参加者	参加者48名 ボランティア17名（ALT14名、外国人留学生1名、ボランティア2名）
内容	小学校に見立てたひろしま国際プラザ（HIP）で、参加者が4グループに分かれ、教師役のALTから4科目の授業を受けて外国（英語圏）の小学校を疑似体験。 ・Arts&Crafts（図工）：ジンジャーブレッドマンの飾り作り ・Math（算数）：カードを使った計算ゲーム ・Science（理科）：地震のおもしろ実験 ・P.E.（体育）：チーム対抗のキャタピラーレース

(2回目)

日時	令和6年3月9日（土）9：45～12：15
場所	ひろしま国際プラザ ロビー（1階、2階）、体育館
参加者	参加者55名 ボランティア19名（ALT15名、在住外国人1名、ボランティア3名）
内容	（1回目と同じ内容）



12月16日 英語村 (Arts&Crafts)



12月16日 英語村 (Math)



3月9日 英語村 (Science)



3月9日 英語村 (集合写真)

2 「やさしい日本語」の普及

- (1) 概要 日本語が苦手な外国人住民にとっても理解が容易な「やさしい日本語」の普及を図るため、出前講座等を活用しながら、考え方や実践的なノウハウを習得するためのセミナー等を開催することで、業務及び日常生活等における外国人対応の一助とし、受入側の体制整備を支援する。
 ▽ 「やさしい日本語」の概略、ロールプレイによる実践練習

- (2) 対象者 東広島市に在住・勤務し、外国人への情報発信やコミュニケーションを行う自治体・企業職員（教育・福祉・保健分野など）、住民自治コミュニティ、地域メディア担当者、学生等

- (3) 実施回数・参加者数 2回 25名

- (4) 実施状況

(1回目)

日時	令和5年9月23日(土) 13:00~14:30
場所	広島国際大学東広島キャンパス
対象	広島国際大学学生、東広島市民
参加者	13名
内容	「やさしい日本語」講座

(2回目)

日時	令和5年12月18日(月) 10:00~11:30
場所	御菌宇地域センター
対象	御菌宇地域の住民
参加者	12名
内容	「やさしい日本語」講座



12月18日
御藪宇地域センターで講座を開催

3 外国人のための東広島バスツアー

- (1) 概要 地域に対する理解を促進し、生活上必要となる情報を提供するために、在住外国人のためのバスツアーを開催し、外国人住民の生活の利便性・快適性向上を図るとともに、地域に対する愛着を増す機会とする。また、参加者同士のコミュニケーションを促し、住民同士のネットワーク形成の一助とする。
- ▽ 市内の主要観光スポットや生活に役立つ公的機関への訪問
 - ▽ バス内でのレクリエーション等を通じた参加者間の交流
- (2) 対象者 東広島市に在住する外国人等（技能実習生を含む。）
- (3) 実施回数・参加者数 3回 75名
- (4) 実施状況

(1回目)

日時	令和5年5月1日（月） 9:45～17:55
参加者	22名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・移動中のバスの中で 東広島に関するクイズを実施 ・河内町の河内パークゴルフでパークゴルフを体験 ・三原市本郷町のコカ・コーラボトラーズジャパン広島工場を見学

(2回目)

日時	令和5年10月22日（日） 8:30～16:30
参加者	26名（外国人技能実習生）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・移動中のバスの中で 東広島に関するクイズを実施 ・東広島国際フェスタ 2023 のメイン会場を見学 ・豊栄町の小石川リンゴ園でリンゴ狩り体験 ・三原市本郷町の三景園を見学

(3回目)

日時	令和6年3月20日（水） 9:20～17:00
参加者	27名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・移動中のバスの中で ひな人形の説明 ・蓮池うるし工房で鉛筆の金箔体験 ・たけはら町並み保存地区で雛めぐり ・安芸津生涯学習センターでゲームによる交流



5月1日 工場見学ツアー



10月22日 リンゴ狩り体験



3月20日 鉛筆の金箔体験



3月20日 雛めぐりと三味線体験

4 外国人のための防災フェスタ

- (1) 概要 外国人住民等を対象に、地震、風水害、火災などの防災をテーマにした体験型イベントを開催又は東広島市総合防災訓練等に参加し、外国人住民の防災意識を高めるとともに、地域の安全・安心の向上を図る。
- (2) 対象者 東広島市に在住する外国人市民等
- (3) 実施状況

日時	令和5年7月8日(土) 9:20~16:10
場所	東広島消防署 道の駅湖畔の里福富(福富町) ※ 天候不順のため福富ダムの見学は中止
参加者	外国人21名、日本人10名(日本人は防災オリンピックの参加者)
内容	・東広島消防署内の防災センターを見学 ・道の駅湖畔の里福富で、ゲームを通して防災を学ぶ防災オリンピックに参加(ひがしひろしま防災×まちづくりプロジェクトとコラボ)



東広島消防署を見学



防災オリンピック

5 地域交流希望事業

- (1) 概要 ひろしま国際プラザに滞在する研修員との交流を希望する人を広く一般より募集し、地域住民が主体となった国際交流活動を促進する。
▽ 日本の伝統芸能発表会、スポーツを通じた交流イベント など
- (2) 対象者 東広島市在住の国際交流を希望する地域住民、ひろしま国際プラザに滞在する研修員等
- (3) 場所 ひろしま国際プラザ
- (4) 実施回数・参加者
- | | | |
|---------|-----|--------|
| 伝統芸能発表会 | 2回 | 159名 |
| スポーツ交流 | 88回 | 1,057名 |



9月28日ロビーイベント（空手）



11月29日ロビーイベント（邦楽）

6 ホームステイ・ビジット講習会（ホストファミリー講習&交流会）

- (1) 概要 身近にできる国際協力・交流の手段として有益なホームステイやホームビジットについての講習会を開催し、日本人住民のホームステイ等への関心を喚起し、またホストファミリー相互の連携及び情報共有を強化する。
- (2) 対象者 主に東広島市在住のホームステイ等の受入れに興味をもつ日本人
- (3) 実施状況

日時	令和5年6月24日（土） 10：00～12：00
場所	ひろしま国際プラザ
人数	41名（日本人32名、外国人協力者7名、ボランティア2名）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームステイ・ビジットの目的や内容について説明 ・イスラム教やハラールフードについて説明、試食 ・ワークショップ（ホームビジットのプラン作り・発表、ゲームやクイズを通じた外国人との交流）



イスラム教の説明



ハラールフードの試食

7 外国人のための子育て交流会

(1) 概要 未就学児を持つ外国人が、地域の日本人との交流を通じて、日本で暮らしていく上で必要となる日本の文化や生活について理解を深める機会を設ける。また、子育て支援拠点が実施する外国人の子育て支援に係る活動を支援する。

(2) 対象者 主に東広島市在住の未就学児を持つ外国人・日本人及びその子ども

(3) 実施回数・参加者

- ・子育て交流会 2回 42名
- ・子育て支援拠点支援 12回 216名（外国人120名、日本人96名）

(4) 実施状況

(Paren Talk)

日時	令和5年9月21日（木） 11:30～12:30
場所	ひろしま国際プラザ
人数	10名（外国人4名、日本人6名）
内容	・子育て中の外国人親子と日本人親子の交流（絵本読み聞かせ、紙コップロケット作り、自由交流）

(子育て交流会)

日時	令和6年3月16日（土） 10:40～12:10
場所	ひろしま国際プラザ
人数	32名（外国人9名、日本人23名）
内容	・自己紹介 ・ピニャータ割り ・フリートーク（交流タイム）

(子育て支援拠点支援)

日時	①令和5年4月12日（水） 10:00～12:00 参加者29名（外国人14名、日本人15名）
	②令和5年5月17日（水） 10:00～12:00 参加者25名（外国人14名、日本人11名）
	③令和5年6月14日（水） 10:00～12:00 参加者29名（外国人20名、日本人9名）
	④令和5年7月12日（水） 10:00～12:00 参加者17名（外国人9名、日本人8名）
	⑤令和5年8月9日（水） 10:00～12:00 参加者25名（外国人19名、日本人6名）
	⑥令和5年9月13日（水） 10:00～12:00 参加者17名（外国人10名、日本人7名）
	⑦令和5年10月11日（水） 10:00～12:00 参加者22名（外国人6名、日本人16名）
	⑧令和5年11月8日（水） 10:00～12:00 参加者19名（外国人10名、日本人9名）
	⑨令和5年12月13日（水） 10:00～12:00 参加者20名（外国人11名、日本人9名）
	⑩令和6年1月17日（水） 10:00～12:00 参加者なし
	⑪令和5年2月14日（水） 10:00～12:00 参加者4名（外国人2名、日本人2名）
	⑫令和5年3月13日（水） 10:00～12:00 参加者9名（外国人5名、日本人4名）
場所	キッズプラザひがしひろしま「ゆめもくば」
内容	・毎月第2水曜日の10時から12時までを「おしゃべりワールドデー」とし、外国人親子と日本人親子が交流



3月16日 子育て交流会（ピニャータ割り）



おしゃべりワールドデー

8 地域国際交流事業

- (1) 概要 地域に暮らす外国人・日本人住民との交流の場を作り、ともに活動することで、相互理解を促進し、外国人住民の地域への溶け込みや地域内での異文化理解、コミュニティ形成を促進するため、生涯学習センター等と協同して交流事業を実施する。
- (2) 対象者 東広島市内の地域に在住する外国人・日本人住民
- (3) 実施状況

日時	令和6年1月27日（土） 10:00～12:50
場所	高美が丘地域センター
対象	高屋地域に在住する外国人・日本人住民
参加者	24名（外国人5名、日本人17名、外国人協力者1名、ボランティア1名）
内容	ベトナム料理作り交流会（フォー・ガー）



ベトナム料理作り



ベトナムの紹介

9 防災アドバイザー事業

- (1) 概要 地域に暮らす外国人住民への災害時支援や外国人住民の防災意識を高めるための事業等に対しアドバイザーを派遣し、業務及び日常生活等における外国人対応の一助とし、受入側の体制整備を支援する。
- (2) 対象者 地域自治組織等
- (3) 実施回数・参加者数 2回 56名
- (4) 実施状況

(1回目)

日時	令和5年8月27日（土） 9:20～10:50
場所	東広島消防署
対象	西条自治協議会の住民
参加者	日本人20名、外国人17名
内容	西条自治協議国際交流部会主催の「やさしい日本語で防災訓練」の中で「やさしい日本語」講座（災害時における外国人への情報の伝え方）

(2回目)

日時	令和6年3月18日(月) 16:30~17:30
場所	東広島市役所
対象	東広島市 市議会議員
参加者	19名
内容	「やさしい日本語」講座(災害対策としてのやさしい日本語)



8月27日東広島消防署で講座を開催

10 友好都市マリリア市 PR 事業

- (1) 概要 東広島市の国際友好都市の一つであるブラジルサンパウロ州マリリア市との友好交流の PR 事業を実施する。
- (2) 対象者 東広島市に在住する市民(ブラジル出身者を含む。)等
- (3) 実施回数・参加者数 2回 181名
- (4) 実施状況

(1回目)

日時	令和5年10月22日(日) 10:00~16:00 東広島国際フェスタにブースを出展
場所	東広島国際フェスタメイン会場(西条中央公園)
人数	マリリア市に係るクイズ参加者 155名
内容	写真・パネル展示、マリリア市に係るクイズ

(2回目)

日時	令和5年11月3日(金)~4日(土) 10:00~17:00(4日は16:00) 東広島市生涯学習フェスティバルに出展
場所	東広島芸術文化ホールくらら
人数	写真・パネル展示のアンケート参加者 26名
内容	写真・パネル展示



10月22日
東広島国際フェスタでパネル展示



2 国際相互理解促進事業

【目的】

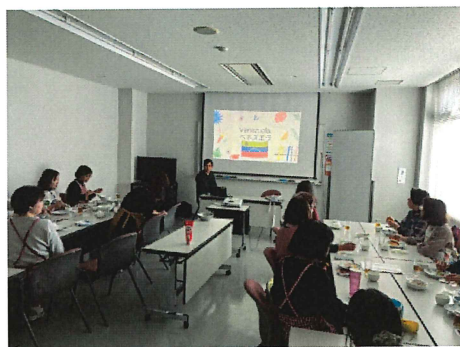
日本文化・外国文化の相互理解を促進することで、グローバルな視野を持ち、文化の多様性を受容できる国際人材の養成に寄与する。

1 ワールドクッキング教室

- (1) 概要 海外の料理をテーマとした料理講習会を開催する。講師は地域に暮らす外国人住民に依頼し、外国人住民の社会参画への機会とする。
▽ 講師の母国の料理紹介および調理を通じた交流
▽ 講師の母国文化、社会事情の紹介
- (2) 実施回数 4回
- (3) 実施状況 テーマ国：ガーナ、パキスタン、ベネズエラ、エジプト
- (4) 受講者数 68名



パキスタン料理



ベネズエラ料理

2 広島平和学習

- (1) 概要 平和記念公園、平和記念資料館、原爆ドームなどへの訪問や講義を通じて、広島の復興の歴史や平和の尊さについて学ぶための研修を実施する。
- (2) 対象者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員等
- (3) 実施回数 23回
- (4) 参加者数 239名
- (5) 行程 平和記念資料館見学
「平和都市ヒロシマの歩み」(講義)
平和記念公園見学(原爆ドーム、慰霊碑、原爆の子の像、爆心地など)



講義「平和都市ヒロシマの歩み」



原爆ドーム

3 宮島ツアー

- (1) 概要 広島を代表する文化遺産である宮島への訪問を通じ、日本の歴史・文化に対する理解を促進し、親日感情の醸成に寄与する。
- (2) 対象者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員等
- (3) 実施回数 2回
- (4) 参加者数 55名



宮島の大鳥居

4 G7サミットの地「広島」を巡るツアー

- (1) 概要 2023年5月にG7サミットが開催された地「広島」で、各国の元首が訪れた広島平和記念資料館や平和記念公園を見学するほか、広島の自動車メーカーであるマツダ工場を見学するなど、平和や広島についての理解を深める機会とする。
- (2) 対象者 全国のJICA長期研修員
- (3) 実施回数 1回
- (4) 参加者数 39名



原爆ドーム



ヒロシマの復興について講義

5 日本文化体験教室

- (1) 概要 伝統的な日本文化である茶道・華道・着付け・書道等を体験する教室を開催することで、日本文化に対する興味・関心を喚起し、親日感情の醸成に寄与する。
- (2) 対象者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員
- (3) 場所 ひろしま国際プラザ 研修室・和室等
- (4) 実施回数 28回（着付け10回、華道6回、茶道3回、書道3回、お好み焼き体験4回、折り鶴アート2回）
- (5) 参加者数 436名



着付けの体験



書道の体験

6 ホームステイ・ビジット

- (1) 概要 日本人住民と生活を共にする体験を通じ、研修員の日本の生活・習慣・文化に対する興味・関心を高めるとともに、受入家庭の国際交流・異文化理解への意欲を高める。
- (2) 対象者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員
- (3) 実施回数 実績なし

7 東広島地域のまつり等への参加

- (1) 概要 研修員が地域コミュニティ等の主催するまつり等に参加し、地域住民と交流を深める。
▽ 西条酒まつり、御菌宇小学校運動会・とんど大会への参加
- (2) 対象者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員等
- (3) 場所 酒まつり会場、御菌宇小学校
- (4) 実施回数 3回
- (5) 参加者数 研修員 49名



西条酒まつりの酒みだればやし



御菌宇小学校とんど大会

8 出前講座

- (1) 概要 在住外国人と日本人住民との交流。日本人住民からの申し込みに応じて随時開催し、日本人住民の国際交流を促進し異文化理解を高める。
- (2) 対象者 東広島市に在住する日本人住民
- (3) 場所 申込者が提供する場所
- (4) 実施回数 6回（「遊び」をとおして世界が見える）
- (5) 参加者数 120名

3 地域日本語教育支援事業

【目的】

広島県内各市町の日本語教育を支援する「人材育成・教材・リソース等の開発及び実践研究拠点」として、総括コーディネーターを配置しつつ、地域日本語教育コーディネーター（※）の育成、指導等を実施し、外国人が孤立することなく、県民の一員として地域に溶け込み、安心して生活できる環境を整備する。

※ 地域における日本語教育の推進を担う役割

1 日本語学習支援者養成

- (1) 概要 日本語能力が十分でない外国人住民が生活等に必要な日本語力を身に付け社会の一員として地域へ参加できるよう、地域コミュニティー拠点としての地域日本語教室を形成することを目的とする。
- (2) 対象者 日本語ボランティア、自治体職員等
- (3) 実施状況

広島県が実施する市町委託事業実績（令和5年度）（講師：犬飼日本語常勤講師他）

内容	回	実施日	定員等	時間	市町名
日本語教室ボランティア養成講座	第1回	9月9日	各15名	各2時間	呉市
	第2回	9月16日			
	第3回	9月23日			
	第4回	9月30日			
「やさしい日本語」研修会	—	9月19日	—	2時間	廿日市市
日本語ボランティア養成講座	第1回	10月14日	各30名	各2時間	海田町
	第2回	10月21日			
	第3回	10月28日			
日本語ボランティア相談会	—	12月15日	—	2時間	廿日市市
日本語ボランティア研修	第1回	1月12日	各30名	各2時間	廿日市市
	第2回	1月26日			
	第3回	2月2日			
	第4回	2月9日			
	第5回	2月16日			
日本語ボランティア相談会	—	1月21日	—	2時間	三原市
「やさしい日本語」研修会	—	2月25日	30名	2時間	三原市
日本語教室立ち上げフォローアップ	—	1月21日	—	1時間30分	北広島町
		2月18日			

市町等からの要請に基づき研修講師を派遣した実績(令和5年度)(講師:犬飼日本語常勤講師他)

内容	回	実施日	定員等	時間	依頼団体
「やさしい日本語」研修	—	4月18日	—	1時間50分	広島市
		11月20・21日	—	2時間	
		9月2日 1月13日	25名	2時間	広島平和文化センター
「やさしい日本語」研修	—	5月22日	—	2時間	東広島市
	—	1月26日	—		
「やさしい日本語」研修	—	6月26日	30名	3時間	広島県(自治総合研修センター)
「やさしい日本語」から考えるコミュニケーション～ことばの壁と心の壁をなくそう～	—	7月25日	50名	2時間	福山市(ふくやま国際交流協会)
日本ボランティア研修会	—	10月3日	—	2時間	尾道市
日本語ボランティア養成講座	第1回	10月20日	各10名程度	各2時間	三原市
	第2回	11月3日			
	第3回	11月10日			
「やさしい日本語」講座	—	12月1日	—	1時間30分	廿日市市(阿品台市民センター)
より多くの人に伝わる災害情報の伝え方—「やさしい日本語」の可能性について考える—	—	12月2日	—	2時間	海田町
「やさしい日本語」研修	—	2月9日	20名	2時間	呉市
「ことば」の活動を通じた地域づくりについて考える講座	—	2月24日	15名	2時間	呉市

4 相互理解・交流促進事業< J I C A 受託事業 >

【目的】

地域に滞在する JICA 研修員と地域住民との交流の場を作ることにより相互理解を促進し、地域住民の開発途上国・地域及び JICA 事業に対する関心と理解を高めるとともに、JICA 研修員及びその家族の日本理解を深める。

1 地域市民対象イベント Touch the World

- (1) 概要 JICA 事業について理解と関心を深めてもらうとともに、JICA 事業の対象である開発途上国について知ってもらう機会とするため、研修員等の協力を得て、世界や多文化に触れる体験型イベントを開催する。
- (2) 対象者 国際交流に興味をもつ小学生高学年等の地域住民
- (3) 場所 ひろしま国際プラザ
- (4) 実施状況

日 時	令和 6 年 2 月 17 日 (土) 10 : 00 ~ 15 : 10
参加者	参加者 242 名、研修員等 17 名、ボランティア 10 名
内 容	視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚の五感を使った体験コーナー ①手食体験をしよう ②留学生と話そう ③モンゴルのカルタで遊んでみよう ④スパイスチャレンジ ⑤ビーズで国旗を作ろう



留学生と話そう



モンゴルカルタで遊んでみよう

2 サイエンスパーク施設公開 などときクエスト～JICA からのちょうせんじょう

- (1) 概要 サイエンスパーク施設公開時に、JICA 事業、開発途上国や国際協力に対する関心と理解を促すアクティビティやワークショップを開催する。また、ひろしま国際プラザの魅力を知ってもらう機会とする。
- (2) 対象者 国際交流に興味をもつ地域住民
- (3) 場所 ひろしま国際プラザ
- (4) 実施状況

日 時	令和 5 年 8 月 10 日 (木) 10 : 00 ~ 16 : 00
参加者	参加者 113 名、研修員 18 名、ボランティア 5 名

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ JICA 事業や研修員の来日目的に絡めた 5 つの謎を仕掛け、参加者は謎を解いて最後にキーワードを完成させるというアクティビティを実施 ・ 謎解きの一つは研修員と直接交流することが必要
-----	---



親子で謎解き



参加者と研修員の交流

3 JICA 研修員と話す HIROSHIMA ピーストーク

- (1) 概 要 紛争経験国からの研修員が自国の紛争経験を発表し、参加者と平和について話し合うことにより、開発途上国における平和や復興支援に関する理解・関心を高める。
▽ パワーポイントによるプレゼンテーション、フリートークなど
- (2) 対 象 者 開発途上国・開発教育に興味を持つ日本人・外国人住民
- (3) 実施回数 2 回
- (4) 参加者数 54 名
- (5) 実施状況

(第 1 回)

日 時	令和 5 年 10 月 21 日 (土) 10 : 00 ~ 11 : 45
場 所	東広島芸術文化ホールくらら (東広島市西条栄町)
対象国	ジブチ

(第 2 回)

日 時	令和 5 年 12 月 9 日 (土) 10 : 00 ~ 11 : 45
場 所	広島平和記念資料館 (広島市中区中島町)
対象国	スリランカ



ワークショップの様子



内戦について説明する研修員

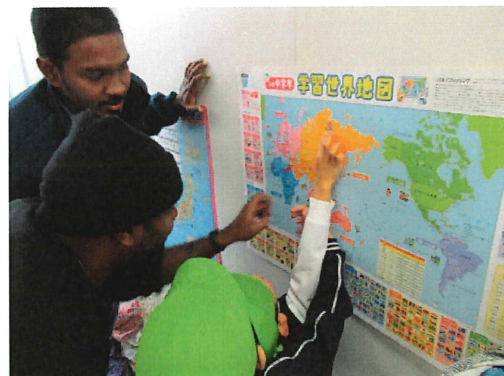
4 学校訪問

- (1) 概要 研修員が日本の学校教育現場を訪問することにより、日本の教育の現状や教員、児童・生徒の日常生活などを知り、日本社会について理解を深める。また、児童・生徒が研修員と交流することにより、開発途上国や異文化理解に関する興味・関心を高める機会とする。
 ▽ お互いの文化・社会事情等について相互に紹介する。
 ▽ お互いの伝統的な遊び等を紹介し、実演を通して交流を深める。
- (2) 対象者 開発途上国・開発教育に興味を持つ中国地方の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等
- (3) 実施回数 7回7校
- (4) 参加者数 研修員58名、児童・生徒・教員等560名
- (5) 実施状況

第1回	令和5年7月15日(金)	岡山学芸館高等学校(岡山県)
第2回	令和5年11月7日(火)	広島県立加計高等学校
第3回	令和6年1月18日(木)	西条幼稚園
第4回	令和6年1月30日(火)	邑南町立矢上小学校(島根県)
第5回	令和6年1月31日(水)	広島市立安小学校
第6回	令和6年2月2日(金)	広島三育学院大和小学校
第7回	令和6年2月16日(金)	東広島市立松賀中学校



お国紹介(安小学校)



園児と交流(西条幼稚園)

5 大学訪問

- (1) 概要 大学生等と研修員が交流する機会を設け、それぞれが学んでいる分野について意見交換をするほか、研修員の出身国の社会・文化などの紹介を通じた交流を行い、相互の理解を深める。
- (2) 対象者 開発途上国・開発教育に興味を持つ広島県内の大学・短期大学・高等専門学校(高専)の学生・生徒
- (3) 実施回数 3回3大学・短期大学
- (4) 参加者数 研修員12名、学生・教員等113名
- (5) 実施状況

第1回	令和5年10月27日(金)	広島修道大学
第2回	令和5年11月8日(水)	広島文教大学
第3回	令和5年11月20日(月)	山陽女子短期大学



パネルディスカッション (広島修道大学)



フリートーク (広島文教大学)

2 2 国際協力情報の収集・提供事業

(ひろしま国際プラザ情報センター・図書室等運営事業)

1 目的

海外からの研修員や県民等に国際協力等の情報を提供するとともに、各種の相談に応じる。

2 事業概要（平成9年度(1997年度)開始）

- (1) 情報センター・図書室の運営（平成9年(1997年)4月1日開室）
業務：日本語学習教材や国際協力に関する図書等の配備（蔵書数 14,404 点）
ひろしま国際プラザ滞在の研修員や外国人，県民を対象とした相談
- (2) ホームページによるひろしま国際プラザ情報等の提供
- (3) 平成21年(2009年)4月から図書室内に日本文化理解のための展示を実施
- (4) 平成22年(2010年)5月から研修員と一般向けにミニ折り紙レッスン開始
- (5) 平成24年(2012年)4月からツイッター，5月からフェイスブック開始
11月から，図書等の一般への貸出開始
- (6) 平成25年(2013年)Wi-Fi環境の整備，開始
- (7) 平成27年(2015年)4月に絵本専用の部屋「絵本の森」をオープン

3 令和5年度実績

情報センター・図書室の運営（開館日数：304日）

休室日：毎週日曜日，12月29日～1月3日（蔵書整理等のため，別途年4日間休室）

開館時間：平日 10:30～12:30・13:30～19:00，土祝日 10:30～19:00

① 情報センター・図書室来室者数

区分	一般(人)	宿泊研修員(人)	計(人)	一般比率(%)	研修員比率(%)
総数	4,469	478	4,947	90.3	9.7
1日平均	14.7	1.6	16.3		

② 情報センター・図書室相談・問合せ件数

内容	一般(件)	宿泊研修員(件)	計(件)	一般比率(%)	研修員比率(%)
1 センター事業・研修等，施設利用・案内	117	19	136	86.0%	14.0%
2 国際交流・協力 NGO，ボランティア	5	0	5	100.0%	0.0%
3 教育・学習・語学・留学等	2	1	3	66.7%	33.3%
4 異文化理解（ホームステイ・文化交流（折り紙等）・行事・催し）	202	4	206	98.0%	2.0%
5 生活一般（医療・公共サービス・観光・交通・宿泊・レンタル他）	4	8	12	33.3%	66.6%
6 その他	4	3	7	57.1%	42.9%
計	334	35	369	90.5%	9.5%

③ 蔵書購入 令和5年度実績：図書 285冊，CD 9枚，DVD 5本

④ リサイクルフェアの実施

令和6年2月17日 参加97名 来室267名

⑤ 読み聞かせの実施（絵本で楽しむ外国語）

28回（随時実施）

⑥ 利用者数，貸出数

(参考) 過去の実績

(単位：人，件)

区分／年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
利用者総数	7,588	2,445	1,493	3,592	4,947
うち一般利用者数	6,861	2,128	1,330	3,176	4,469
うち宿泊研修員利用者数	727	317	163	416	478
相談・問合せ件数	403	204	254	402	369
貸出数 (図書，雑誌，AV合計)	8,677	4,969	3,484	5,801	7,268



(情報センター・図書室)



(情報センター内展示)

(研修部：Ⅱ 地域の国際化推進事業)

2 3 NGOの人材育成・情報提供事業

1 目的

地域レベルでの国際協力に対する県民理解を深めながら、本県の国際化の貢献に寄与する草の根の国際協力・国際貢献活動を行う人材の育成を図る。

また、NGO交流室を活用し、NGOの活動や情報提供を推進する。

2 事業概要

(1) 「草の根国際協力活動支援事業」：県内のNGO活動を支援するため、「草の根国際協力基金」を創設（平成10(1998)年度）し、県内NGO団体の活動を助成

平成26年3月及び令和3年12月にピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会から寄附を受け、支援を拡充

(2) NGO交流室の運営（平成9(1997)年度開始）：NGO交流室を活用し、県内外のNGO活動や情報収集・提供を推進

3 令和5年度実績

(1) 草の根国際協力活動支援事業

6団体に対し5,091,000円の交付決定を行った。

(2) NGO交流室利用状況

5月8日 コロナ感染症の第五類移行を受けて、NGO交流室の利用受付を再開した。

利用者数	掲示申込数	団体ファイル設置数
10人*	368件	57団体 (市町村広報を含む)

*平日昼の閉室時間の、個人による自習利用。

(参考) 過去の実績

(単位：円，人)

事業区分／年度		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
資金協力	草の根国際協力基金(収入)	0	0	0	0	0	0	14,432,428	0	0
	草の根国際協力助成(支出)	2,704,884	4,193,832	5,597,229	5,703,475	1,817,400	3,694,183	66,174	440,000	4,398,543
情報収集・提供	NGO交流室利用者数	498	584	583	339	492	0	0	0	10

注：草の根のR2,3はR1交付決定分の助成金の、R4は同年度交付決定分の助成金の当該年度中の支出額。

R5はR4、5交付決定分の助成金の5年度中の支出額

(研修部：Ⅲ ひろしま国際プラザ施設管理運営事業)

24 ひろしま国際プラザ施設管理運営事業

1 目的

広島県立広島国際協力センターと独立行政法人国際協力機構(JICA)中国センターの合築施設である「ひろしま国際プラザ(HIP)」を、両者からの委託により一体的に管理し、中四国地方の国際協力事業の拠点施設として効果的に活用されるように総合的に運営を行う。

2 事業概要

- (1) 広島国際協力センターの管理運営 (令和元(2019)年度～令和5(2023)年度 第4期指定管理者)
- (2) JICA中国センターの管理運営

3 令和5年度実績

- (1) 研修・講習会実績

(単位：コース，人)

区 分	コース数	人数	備 考
広島県研修	5	81	日本語高等研修，海外日本語教師養成研修 JETプログラム日本語・日本文化研修等
JICA研修	88	493	課題別研修，国別研修，青年研修，日系研 修等
HIC独自研修	17	253	グローバルレゾナンス・プログラム，青少年等日本文 化体験研修，企業等国際化研修
その他	7	69	企業，大学，協同組合等が実施する国際化 研修等による施設利用
計	117	896	

※人数はリモート研修の研修員を含む。

- (2) 宿泊室利用実績

(単位：人泊，%)

区 分	令和5年度 利用者数(A)	令和5年度 利用率	令和4年度 利用者数(A)	令和4年度 利用率	増減率 (A/B)
広島国際協力センター	9,476	35.5	9,462	35.5	100.1
JICA中国センター	8,413	47.9	5,572	31.8	151.0
計	17,889	40.4	15,034	34.0	119.0



【ひろしま国際プラザ】